

市民農園の再開手順

ロサンゼルス郡公衆衛生局（公衆衛生局）は、一般市民、すべての企業主、および地域組織に、企業と公共スペースの再開支援を呼びかけています。集団での「安全維持のための在宅命令」の取り組みを通じて、COVID-19の新規症例と入院患者数の減少に成功し、日常生活の多くの側面で段階的再開を可能にしました。

この移行を促進するため、公衆衛生局はすべての市民農園に 復興計画に沿って再開に向けた計画を立てるに
あたり適切な手順を踏むことを求めています。以下は従業員と利用者が市民農園におけるリスクの拡大を減らす
ための重要点であり、対策を講じる必要があります。

- (1) 従業員と利用者の健康の保護とそのサポート
- (2) 適切な物理的距離の維持
- (3) 適切な感染対策の実行
- (4) 市民とのコミュニケーション
- (5) サービスへの平等なアクセスの確保

上記重要点は以下のチェックリストに組み込まれており、市民農園の再開手順要件として実装が必要です。

**すべての市民農園は、以下の適用可能な対策をすべて実施し、実施されない対策に関しては、
適用されていない理由を説明する準備ができていなければならない必要があります。**

市民農園名:

所在地:

A. 推奨される制限事項

- 常に布製フェイスカバーを着用する。
- 常に最低6フィートの物理的距離を維持する。
- ボランティアイベント、その他のイベント、およびクラスの開催は禁止する。
- グループでの集会は禁止する。
- 農園の利用者数は混雑を引き起こさない数に制限し、利用者間に6フィートの距離をとる。
- 利用者は、手指消毒剤または消毒用ワイプ、石鹼水を入れたZiplockバッグと手ぬぐいなどを
持参し、農園を利用する前後に手を洗う。
- 道具や機器を使用するときを含め、ガーデニングを行う際には手袋を着用する。
- 利用者は、農園を立ち去る際にすべての私物とゴミを持ち帰る。
- ドア、入口、ゲートは、通常の営業時間中は開放したままにする。

従業員またはスタッフが現場で勤務する場合

- すべての従業員は、病気の場合、またはCOVID-19感染者に曝露された場合、出勤しないように指示されている。従業員は、自己隔離と検疫に関する公衆衛生局のガイダンスに必要に応じて従うことを理解している。病気で自宅待機することによって従業員が処罰を受けないよう、職場の休暇方針が見直され、修正されている。
- 一名以上の従業員にCOVID-19の陽性反応が出た場合や、一致する症状が出たことを把握した際、雇用主はその感染者に自宅隔離を促し、その感染者と職場で曝露があった全従業員に即時自己検疫を促す計画や手順を準備している。COVID-19に対するさらなる管理対策が必要となるような職場での曝露があったかどうかを判断するため、検疫中の全従業員にCOVID-19検査を受けさせる手順を検討する必要がある。
- 従業員が職場に入る前に症状の確認を行っている。症状の確認には従業員が経験している咳、息切れ、発熱、およびその他の症状が含まれる必要がある。これらの確認は、遠隔、または従業員の出勤時に直接行うことができる。可能であれば、検温は現場です。
- 勤務中に一般市民や他の従業員と接触するすべての従業員に無料で布製フェイスカバーを提供する。従業員が就業中 他人と接触する、または接触する可能性のある場合、フェイスカバーを常に着用する。個人オフィスや仕切りで囲まれた席に一人である場合、従業員はフェイスカバーを着用する必要はない。
- 従業員はフェイスカバーを毎日洗うよう指示されている。
- 従業員に、以下のような個人的予防措置を守ることを改めて注意する。
 - 病気の場合は自宅待機する。最初に症状が発症してから少なくとも10日間、かつ回復後少なくとも3日間（72時間）は自宅待機する。回復とは、解熱剤を使用しない状態で発熱が治まり、咳や息切れなどの呼吸器症状が改善した状態を指す。
 - 石鹸と水で少なくとも20秒間こまめに手を洗う。石鹸と水が利用できない場合は、アルコール濃度60%以上の手指消毒液を使用する。食事の前、トイレの使用後、咳やくしゃみをした後は手を洗う。
 - 咳やくしゃみはティッシュで覆い、ティッシュを捨ててすぐに手を洗淨する。ティッシュがない場合は、手ではなく肘で覆う。
 - 洗っていない手で口、目、鼻に触れない。
 - 病気の人との接触を避ける。
 - 電話やその他の端末などを共有しない。端末を共有する必要がある場合は、共有の前後に、必ず消毒ワイプで拭く。
 - 他のスタッフとの作業距離を常に注意する。身近での作業が要されるものを除き、作業中は他者から最低6フィートの間隔を常に確保する。他者の近くまたは他者と一緒に作業するときは、布製フェイスカバーを着用する。
 - ワークステーション、キーボード、電話、手すり、機械、共有端末、ドアノブなど、頻繁に触れる物や表面を定期的に消毒する。これを営業時間中、毎時行う。
- 本手順のコピーはすべての従業員に配布されている。

B. メンテナンスの手順

- グループでの集まりは禁止され、ベンチやテーブルは使用しないよう取り除いている。
- 共有するものは定期的に消毒している。
- 共有する機器は、使用の前後に消毒している。
- 道具の共有を避けるため、利用者は可能な限り自分の道具を持参している。
- 水飲み場は、ボトルに水を入れるために限り使用できる。

C. 監視手順

- 感染管理、物理的距離措置、フェイスカバーの着用に関する指示や情報の標識を施設全体に掲示する。
- 施設運営者は定期的に施設を訪問し、利用者が安全措置を遵守しているかどうかを監視する。
- 安全措置の遵守を拒否する利用者には、直ちに施設を離れるよう要求する。

企業は上記に含まれていない追加の対策を別紙に記載し、本文書に添付してください。

本手順に関するご質問やご意見は、以下の者までご連絡ください。

市民農園
担当者名：

電話番号：

最終更新日：
